



### 第24回ワークショップ案内

日時 1993年3月28日(日) 13時～17時

会場 兵庫県立人と自然の博物館 セミナー室および展示室

三田市弥生が丘6丁目 tel.0767-32-2001

※入館料 大人200円中高生150円

博物館エントランスホールで入場券をお買い求めの上、4F  
入り口から入館してセミナー室へお集まりください。

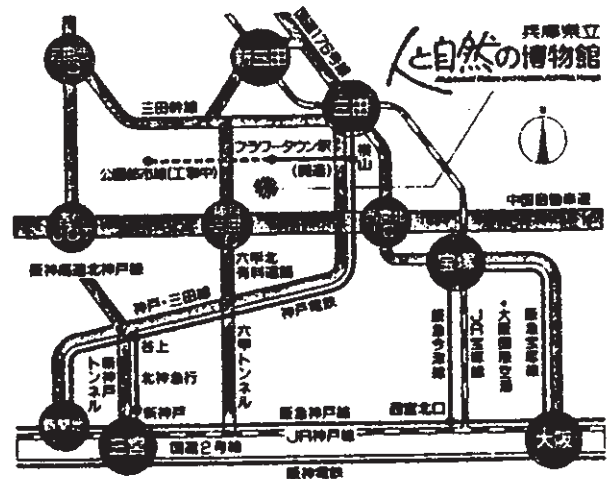
話題提供 澤木 昌典(研究員)

戸田 耿介(主任研究員)

「人と自然との博物館における環境教育」

話題提供の後、2時間程環境問題に関連する展示を  
中心に見学。

### ■利用のご案内



### 移転しました

大阪教育大学の移転に伴い、関西支部  
の連絡先が下記の通り、変わりますので  
お知らせ致します。

〒582 柏原市旭ヶ丘4丁目698-1

大阪教育大学 理科教育学 第3研究室

鈴木 善次 気付

TEL 0729-76-3211 内線3127

### \*交通

#### <電車またはバスご利用の場合>

- ・三宮から北神急行、神戸電鉄利用で「フラワータウン駅」下車、徒歩約5分。
- ・神戸電鉄(新開地駅)利用で「フラワータウン駅」下車、徒歩約5分。
- ・JR三田駅から神戸電鉄「フラワータウン駅」または神戸バス「フラワータウンセンター前」停留所下車、徒歩約5分。

#### <車ご利用の場合>

- ・中国自動車道・六甲北有料道路、神戸三田ICより約5分。

# 第1回研究大会報告

甲南大学 谷口 文章

関西支部の初めての研究大会が1992年11月21日(土)に甲南大学で開催され、196名の参加者があった。世話人代表の赤尾整志氏から、22回にわたるワークショップの報告があり、シンポジウムによって支部活動の将来の方向を考え、研究大会によって一層の充実をはかるために開催される運びとなった、とその主旨が述べられた。

## I) 一般報告プログラム

### 〔自然環境分化会〕

座長・山田 卓三(兵庫教育大学)

- ①楠田 直美・深沢 健治(大阪教育大学)

子どもの「自然イメージ」

- ②谷村 毅美(大阪市教育センター)

自然とのふれあいと環境問題への関心

- ③金井塚 務(宮島自然史研究会)

自然保護と生態学

- ④好廣 武一(龍谷大学):自然学校・理念と活動

- ⑤菊間 馨(宮島自然史研究会)

宮島における自然教育

- ⑥斎藤 三男(東京都日野台高等学校)

東京都に於ける環境教育研究の現状

### 〔人間環境分科会〕

座長・榎村 久子(奈良文化女子短期大学)

- ①本庄 真(奈良県東榛原小学校)

自然との「共鳴感」の提案

- ②久武 哲也(甲南大学):人文地理学と環境教育

- ③山田 弘司(日本非鉄金属関係組合全国連合会)

生産から廃棄までの道程を考える

- ④中丸 寛信(甲南大学):企業における環境教育

- ⑤北村 真(弁護士):環境権をめぐる判例

- ⑥小谷 英子(大阪大学):精神環境と人間性

## II) シンポジウム:『環境教育の今日的課題』

- ①基調講演 鈴木 善次(大阪教育大学)

- ②パネルディスカッション

コーディネーター 谷口 文章(甲南大学)

パネリスト

赤尾 整志(グローバル環境文化研究所)

藤岡 達也(大阪府立勝山高等学校)

高田 研(豊中市立第八中学校)

原田 智代(大阪教育大学)

山本 幹彦(東京都ユースホステル協会)

一般報告では、自然環境(座長:山田卓三氏)と人間環境(座長:榎村久子氏)との分科会に分れて真剣な発表と活発な応答が繰り返された。今回の報告で特徴的なことは、発表時間が20分質疑応答10分、計30分で行われたため、ゆとりのある発表となったこと、そして「自然」と「人間」の両者からのアプローチの大切さを教えられたことであった。

シンポジウムでは、基調講演において鈴木善次氏は、①「環境教育」を環境時代の教育と考え、②その目標に至る手段を知り、③意識変革とコンセンサスの必要を指摘された。

これを受けてパネルディスカッションでは、学校教育の立場から「環境教育を週5日制から考える」赤尾整志氏、「学校(初等・中等)教育における環境教育の課題と可能性」を述べられた藤岡達也氏、体験教育から「環境教育ひと休み」と焦るときほど周囲の状況を知る必要性を訴えられた高田研氏、地域教育から「一部の人の取り組みから地域全体へ」と母親・主婦の主張をされた原田智代氏、さらに自然環境から「旅と環境教育」について既設のネットワークの再評価と運用について述べられた山本幹彦氏の5名の方に発言願った。ディスカッションについては筆者がコーディネーターとして、まず各々の立場における環境教育の目標の位置づけ、次に、そのための実践について論じて頂いた。講演者、パネリスト、会場が一体となって議論が展開した。結論として、固定した教育制度や認識の一元化を超えた「多様な価値」の尊重こそが意識の変革をもたらすであろうということになった。

環境教育学会の特色は、フィールド(ナチュリスト、市民運動)、教育(学校、学校外)、理論(研究、教学)、行政(国、地方)の四つの領域が、四輪の車となって動く学会であるとも考えられる。今回のシンポジウムを通じて、「ひび割れの地球」から「地球一家共同体」の実現に向けて四輪が調和して動き出した感があった。

(大会運営委員長)

第5回 土.水.空気.生き物を考える  
環境保全の集い

人と自然の共存を求めて

2月21日 此花会館

Am9:00~pm17:30

主催 自然環境を考える近畿連絡会

tel 06-374-3376 大阪自然環境保全協会

第1分科会 ゴルフ場.リゾート.巨大開発  
打開の道

第2分科会 水

第3分科会 都市の環境.自然

第4分科会 生き物と自然環境

第5分科会 環境教育

第6分科会 ごみをどうしょ

第7分科会 地球環境問題を考える

地球ウォッチングクラブ 西宮市

環境学習プログラム

リーダー養成セミナー

7回シリーズ 2月12日~3月28日

対象 市内在住.在勤.在学.活動する

15才以上の者

場所 西宮市立勤労会館

西宮市環境保全課 tel 0798-35-3805

企業人の皆さんのための

環境教育セミナー

環境時代の企業の役割

2月24日~25日

場所 山梨県

清里 財団法人KEEP協会

主催 KEEP協会 清泉寮

協力 日本環境教育フォーラム

tel 078-891-0051 fax 0551-48-2099

環境教育トレーナー養成セミナー'93

プロジェクト.ランニングツリー

指導者養成ワークショップ

Project Learning Tree Leadership Workshop

2月27日~28日

京都市宇多野ユースホステル

☎ 075-462-9185

主催 財 京都ユースホステル協会

国際理解資料情報センター (ERI)

PLTとは

アメリカの学校で最も広く利用されている。

「木」を中心にした総合学習のアプローチである。本セミナーは92年6月に実施した「PLT講習会」に引き続き開催されるもので、PLTの方法を身に付けた環境教育の指導者の養成と研修の機会となります。

環境共育ワークショップ

六甲森の黙劇者 バントマイミスト

今回はバントマイムを通して環境とコミュニケーションの問題にせまります

2月11日~13日

ゲスト フジイオサム

場所 大阪YMCA六甲研修センター

主催 聖マーガレット生涯教育研究所

大阪YMCA

申込 tel 078-891-0050

fax

078-891-0054

日本環境教育学会 関西支部

通信費 振込先 大阪9-37886

—環境教育学会関西支部

年間 1000円

発行者

日本環境学会関西支部

〒582 柏原市旭ヶ丘4丁目698-1

大阪教育大学 理科教育学 第3研究室

鈴木 善次 気付

TEL 0729-76-3211 内線3127

日本環境教育学会 関西支部

通信費 振込先 大阪9-37886

~~環境教育学会関西支部~~

年間 1000円

発行者

~~日本環境学会関西支部~~

〒582 柏原市旭ヶ丘4丁目698-1

大阪教育大学 理科教育学 第3研究室

鈴木 善次 気付

TEL 0729-76-3211 内線3127